拓水

題字は　県漁連三浦会長

3月号

No. 126

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町 123
発行人　三浦清太郎
TEL (67) 6685・(68) 6954
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月 28日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

全国漁村青壮年婦人活動実績発表
第13回大会を顧みて

漁業技術の改良、経営の合理化、生活の改善等をいかに行なってきたか!!この成果を発表する第十三回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会は水産庁、全漁連の主催で二月二十一日から三日間東京・日本都市センター並びに農林省で開催された。

本県よりは増殖部門で淡路町岩屋水産研究会、**吉田三代治君**、またグループ活動部門では香住町香住水産研究クラブ、**谷岡薫君**が発表者として出場された。

（代表発表　谷岡　薫君）

大会の概要

一、分科会

第一日（二月二十一日）
第二日（二月二十二日）

第一日および第二日は第一分科会「漁業部門」第二分科会「増殖部門」第三分科会「グループ活動部門」の三部門に分れて分科会が開かれた。

第一日目は、あらかじめ水産庁で研究内容の書類審査で選考された全国の代表者が別紙プログラムの順序に従い、一人発表時間十五分以内、質疑応答五分以内で次々と発表が行なわれた。

二、第二分科会の概要

参加者　約一五〇名
助言者委員長　漁協整備基金協会専務理事　黒田竹弥先生

兵庫県の岩屋水産研究会吉田三代治君「アイナメ稚魚放流事業とその効果について」は十三番目に発表したが、発表態度、表現等も原稿の棒読みではなく、仲々立派であった。この発表に対して次のような質問が出された。

質(1)保護措置として釣針の規制をしているそうだが、どんな内容であるか。

答　小さいアイナメが釣れないように、一寸以下の針を使用してはいけない。（実物演示）また小さい魚は再放流するようにしている。

質(2)背びれ切断魚（標識放流）の再捕率はどうだったか。

答　約二、四〇〇尾のうち約二〇〇尾の再捕報告があり、放流当時の混合比率とほぼ同じであり、殆んどが放流場所近くでとれており、移動していないこともわかった。

質(3)稚魚の採捕場所（二見沖）のアイナメは、わざわざ移殖放流しなくても、そこで大きくなるのではないのか。

答　二見沖では大きくならず次第に周辺の深所の岩場に散っていく、また二見沖は底曳の操業場所であるため大きくならないうちに捕られてしまう恐れがある。

第二日目は発表者が前日の発表時間内に言い尽せなかったことの補足説明と、それぞれの発表について質疑応答と討議がなされた。

私達は第一日目は主として第三分科会（グループ活動部門）に参加し、第二日目はこの第二分科会（増殖部門）の研究討議に加った。本県の参考になると思われる質疑応答の概略は次のとおりであった。

質(大分県、三重県)真珠養殖場のそばでハマチを養殖すると水が悪くなるせいか真珠に病気がおきやすい。

答　データーはないが、ハマチと真珠との養殖は両立しないだろう。これは底質と水質汚濁との関係である。潮流、その他を考慮して両立するよう心がける必要があると思う。

ノリの冷凍網について

(愛知県）冷凍網の採苗は、濃密な芽つけをした方が成績がよいようであり、また健全な芽のついた網がやはり収獲もよい。エロスロシン反応で二〇～三〇％以上侵されたものは収獲が落ちる。

(須藤）北海道（オーック海側）では、冷凍網を使って春秋にノリ養殖をやっている。この例から考えて、ノリは〃ネ網を作るまで二カ月かかるのでいい所で育った種網を買ってきて、一カ月ノリの成長によい条件のところがあれば、日本海側や北海道でも今後ノリ養殖が出来ると思う。

(愛知県）三センチ以上伸びたノリ芽を冷凍した方がよい理由として、三センチまで伸びるのに日数がかかるからである。十一月上・中旬までに、二～四センチのものを入庫した網を使用するとノリの成長が早く、収獲も多いからである。

質(兵庫県)冷凍網は張ってから、ノリが伸びきるまで伸ばして摘んだ方がよいか。

答　芽が濃く着いた網は早目に一度摘んで芽を揃え後の成長を促した方がよい、また芽つきのうすいものはよく伸ばしてから摘んだらよい。

質(兵庫県)冷蔵庫に入庫する前に五～六回の干出をすべきだと書いてあるが、網の良否をどこで見分けるか。

答　エロスロシン反応で二〇～三〇％以上おかされたものは入庫しない方がよい。

質(兵庫県)冷凍網をすぐに浮流しに張り込んでもよいかどうか。

答　愛知県では、殆んどが固定柵であり、浮流しはしていない。出庫後、二～三日は無干出の方がよいと思われる。秋は干出が必要だが、冬は干出は要らない。

質(兵庫県)殆んどの県では摘採したノリを真水（水道水）で洗っているが、兵庫県では、それをやっていない、水で洗うと反ってノリの製品にしたときツヤがなくなり、品質が落ちる、どうしてか。

答　（須藤）塩分のカライ所のノリは真水で洗うとツヤは少し落ちるが楽くなって製品の質はよくなる。真水で洗うときの時間を短くするとよい。

質(兵庫県)他県のものに比べて大阪湾のノリは相当厚くすいても製品孔にあきがよく出る、どうしてか。

答　（須藤）ノリをすくとノリ気が出てツヤが出る。ノリの品種によっては孔あきが出る、スサビノリの系統は厚いので孔あきが出やすい、またノリ気も少ない。この対策として（理論的に正確な裏付けはないが）ノリをすくときスキ桝に牛乳六〇cc（約1/3）位を入れると孔あきが少ない。牛乳中のカゼインが良い作用を及ぼすのではないかと思う。

(質問）タイラギの貝殻が沢山あるが糸状体培養に使用できないだろうか。

答　（須藤）大低の貝殻は使用できないことはないが、このタイラギだけは駄目だ、この貝殻の細胞は六角形になっており、糸状体が外に拡がることが出来ない。

質(兵庫県)貝殻の糸状体培養をはぶく方法の研究は現在どの程度まで進んでいるか。

答(愛知水試)二次芽をとったところまで試験したが、冷蔵法の失敗ではないけれども、十一月中旬に駄目になった。板ノリにして（水分一五％程度）秋にタネを付けたらよいのだから理論的には可能であり、いずれ成功すると思う。

ワカメの加工と流通について

(岩手県）養殖ワカメが天然ワカメよりも多い、岩手県の養殖ワカメ生産金額は七億円（四〇年度）である。流通販売は県漁連が一括して扱っているので、現在まで心配なく円滑に行なわれている。隣りの宮城県と連けいをとりながら、東京・関西方面に出荷している。「ワカメちゃん」の名で理研とていけいして一部売り出し好評のようである。

(島根県）五、〇〇〇トンの生産のうち三〇〇トンが養殖ワカメである。当初は生ワカメで一〇〇〇円/kgであったが、現在では二五〇円/kgである。殆んどが板ワカメになっている。将来大量生産されたら経費を少なくして一〇〇円/kg以下に下げる必要がある。

質(北海道)アイナメは北海道でも沢山釣れるが、安い食用としてもあまり珍重されていない。この魚の売先、食べ方など教えて欲しい。

答　白味であること。時期（冬）によって需用度が高いため高級魚として売れる。食べ方は、刺身、煮付、その他いろいろある。

表彰を受けた吉田君（左）谷岡君（右）

質疑応答および討議終了後、この分科会のなかから第三日の大会に代表発表させるため、助言者ならびに水産庁係官が協議の結果次のものが選ばれた。

代表発表者
ホタテガイ垂下養殖について　北海道　住吉不二夫

三、第三分科会
（グループ活動部門）

参加者　約一五〇名（うち婦人約二〇名）
助言者委員長　全漁連考査役　野中六郎先生

第二分科会と同様第一日目は十六名が研究実績発表、第二日目は質疑応答と研究討議が行なわれた。

本県からのもう一人の出場者、香住水産研究クラブ谷岡薫「小規模漁業経営の決算について」はこの分科会に属し、第九番目に発表したが、発表、態度、表現図表の用い方、助手の演示等実に立派なものであった。そして第三日目の代表発表者に選ばれた。

この分科会の発表の中で面白い（参考となると思われるもの）は①十一番目のフィルム加工の保存食を利用して②七番目のクルマエビの輸送方法と流通改善について、③六番目のシャコの共同出荷についてなどであったと思う。

代表発表
① 計画にもとづいた私達の漁業経営について
宮崎県油津漁協婦人部　日高きしえ
③ 小規模漁業経営の決算について
兵庫県香住水産研究クラブ　谷岡　薫

四、第一分科会（漁業部門）

参加者　約二〇〇名
助言者委員長　東海区水研漁法研究室長　宮崎　千博先生

他の分科会と同様第一日目は実績発表、第二日目は研究討議が行なわれた。

（二面へつづく）

一口辞典　魚の体温

哺乳類（人間、牛、馬など）および鳥類は外界の温度により、それ自身のもっている体温が左右されることは非常に少なく、常にほぼ一定の体温を保っている。即ち恒温（温血）動物であるが、魚は常に外界の温度によって体温は強く左右され一定した体温をもっていない即ち変温（冷血）動物である。しかし魚の体温が必ずのしも外界温度と一致するとゆうわけでもなく実際に今まで調べられた体温をみてみるとまわりの水温より高い場合が多い。まわりの水温と魚の体温の差は魚の種類によって異なりマグロなどのように動きの活発なものは体温は 2°C位高くなっており、淡水のコイなどで冬殆んど動がないような場合は殆んど水温と一致している場合もある。全般的に魚が活発に動いているときは体温はまわりの水温より 1°C位高いことが多いようである。また餌を盛んにとっている時も僅かではあるが体温は上昇することが実験の結果知られている。　（菅原）

（一面よりつづく）
この分科会は会場も広く、参加者も多くて、終始活発な質疑応答が行なわれたもようである。

代表発表
一本釣漁業における水温と漁獲との関係についての一考察
島根県平田市小伊津水産研究会　福田　清

五、大会

農林省七階大会議室
二月二三日（第三日目）
八・三〇～一六・〇〇
参加者　約三五〇名

(1) 映画　八・三〇～一〇・〇〇
(ア) 海に生きる栽培漁業のクルマエビを中心とした児童映画（一時間）
(イ) 海の牧場
ホタテガイ、アワビなどの人工ふ化、養殖技術などと海の牧場化を目指している水産業の新しい動向を紹介したもの（三〇分）

(2) 開会

(3) あいさつ

農林大臣あいさつ（代理政務次官）（要旨）

この大会は昭和二九年から始められ、年を追って次第に一般の注目をあびている。

水産従事者の所得は年々向上しているが周囲の状況は決して楽観は出来ない。資源の減少、国際漁業の激化若年層の流出、老令化現象など不利な点も多い。

国でも水産資源の維持培養、構造改善事業など、漁業の近代化に力を入れている。

漁村の皆さん方が全国から集まって日頃の活動実績を発表されるのはまことに有意義なことである。

この大会を通じて明るく豊かな漁村を築いて行かれるよう願っています。

水産庁長官あいさつ（要旨）

漁業制度の改革によって日本の沿岸漁業も次第に拡大の方向に向った。そして漁村の村づくりの中心となる改良普及事業が拡充されてくるにつれて村づくり運動に一本筋が通ったものになった。

時代の要請にこたえて実践活動の効果はまことに大きい。

二日目の分科会では相当突込んだ討議がなされたときいている。発表内容はいずれも具体的なものばかりで、漁村の近代化が地道に続けられていることを物語っている。まことに喜ばしいことである。

経済成長が行すぎてその歪みが漁村にも現われている。

今後は安定成長に向っていくだろうが、国でも漁業の位置づけを確立しようとしている。このためにも皆さん方の地道な活動がその裏付けとならねばならない。今後一層の活躍を期待している。

全漁連安藤会長あいさつ（要旨）

漁村の現実に則した研究活動は将来の漁村に明るい希望をもたらしている。沿岸漁業が他産業と同じ水準に達するための法制的体制は一応整っている。

四十年前の漁村とは隔世の感がある。三〇〇万の漁民が立上って系統一体化の活動をもりあげてゆきたい。

(4) 代表発表

漁業部門、増殖部門から、それぞれ一人づつ、グループ活動部門から二人、持時間十五分でそれぞれの発表があった。いずれも代表発表にふさわしく、立派なものであった。

「漁業部門」
◎「一本釣漁業における水温と漁獲との関係についての一考察」（島根県平田市小伊津水産研究会福田清）

漁業と水温との関係に一つの目安をつけ、転倒水温計を使用して記録をとり目的魚種の漁場探しに役立てた。そして無駄のない計画操業が出来るようになった。

「増殖部門」
◎「ホタテガイ垂下養殖について」（北海道佐呂間漁協青年部住吉不二夫）

カキ養殖業や、真珠の養殖技術をとり入れながらホタテガイの垂下養殖の研究を四か年続け、試験養殖から企業化までもっていって成果をあげた。

「グループ活動部門」
◎計画にもとづいた私達の漁業経営について
宮崎県油津漁協婦人部
日高きしえ

兄弟四組の夫婦が共同でマグロ延縄漁業を経営し月給制をとり入れ、計画的に新船建造、装備の近代化を行ない着実に収入を増やして安定した経営にもってきた。その苦難にみちた体験発表であった。

◎小規模漁業経営の決算について
香住水産研究クラブ
谷岡　蕉

漁家の収支の簡易記帳を記帳グループを作って一年間実施した。更にその経営を複式簿記に整理し、その経営分析を行なって漁業経営の安定を図ることにした。

(5) 分科会報告

各分科会の助言者代表（委員長）がそれぞれの分科会の概況を報告した。

(6) 講評

水産庁　研究第二課長

この大会も十三回を数え年々充実してきていることはまことに喜ばしい沿岸漁業の諸問題をとりあげ、漁業の将来を示唆しているものが多い。この大会は全国各地の皆さん方の努力の積重ねによって出来るものであるから、今後なお一層の努力をしてほしい。分科会形式にすると一人で三つの会場に参加できないので、今後どうするかなど皆さんの意見をとり入れながらよりよいものにしたい。

(7) 参加賞状授与および記念品贈呈

水産庁長官および全漁連会長から賞状と賞品が出場者全員に授与され、日刊水産経済新聞社から記念品が贈られた。

(8) 閉会

以上水産課外山技師

今年のイカナゴ漁況（第3報）

海況の推移

今年1～2月にかけて大阪湾、播磨灘の水温変化は、1月から2月上旬まではほぼ例年水温と大差なかったが、2月中旬の寒波により、0.5～1.0°C低目となった。昨年12月から2月中旬までの今冬の寒波の来襲状況をみると、12月の19日、20日および28日、1月は2日～7日および14日～16日、2月は13日～17日に記録されている。

この中、イカナゴの発生、稚仔の拡散に影響を与えたと考えられる偏西風日数は8日で、好漁をもたらす要因としてはややもの足りない。しかし、1月中旬の偏西風が稚仔の孵出盛期とかなり一致していた点は、昨年より好条件といえる。一方、両海域とも昨年秋から低塩素量を示していたが、2月上旬には例年並に回復している。

稚仔の分布状況

1月上旬の稚仔の分布状況（第2報）は、その分布域が主に産卵場近辺の海域に集中しているため、産卵盛期の遅速を推定するための参考となるが、その発生量、拡散状態あるいは発生した稚仔の生残りの程度は、2月上旬の分布状況によらねば判断できないことを述べた。

2月上旬に実施した稚仔採集結果を図に示した。これを例年の分布型と比較すると、大阪湾では、その分布域がややせまく、特に淡路東岸域ではうすい分布であったことが目立っているこれは今年の産卵量が例年以下であり、偏西風の連吹日数も少ないことおよび1月下旬が比較的平穏な天候であったことによっている。しかし、2月上旬に採集した稚仔の大きさから、産卵期は例年より2旬ほど長引いたと考えられるので、2月中旬には、その分布域は南部へ拡大したものと推定される。

一方、播磨灘では全域で稚仔が採集された。その分布域は、昭和40年と変らないが、分布量はやや少なく、昭和41年より良好といえる。すなわち、淡路島周辺で発生する稚仔の中、偏西風の卓越した年には、稚仔の70～80%は大阪湾へ拡散してゆき、一部は淡路西岸に沿って南下する。したがって、播磨灘では淡路島周辺発生群の分布量は少ないが、小豆島以西で発生した稚仔が、播磨灘へ添加されてくる。逆に偏西風の少ない年には、淡路島周辺発生群の大阪湾への拡散は少なく、また小豆島西部海域発生群の播磨灘への添加量も少ない。

今年2月の播磨灘西部海域発生群の添加量を、その分布面積（0.1尾/m²分布域一図のB）でみると、およそ1,344km²、好漁であった昭和40年は1,406km²、不漁の昨年は663km²である。

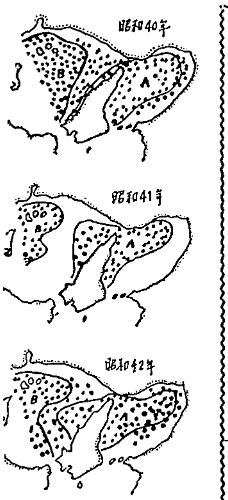
今後の見通し

第1、2報および2月の分布型から、今後のイカナゴ漁況を予測すると、

(1)親魚は、産卵後の索餌活動に入り急速に成長し、2月中旬には110～140mmに達している。しかし、その量は昨年の半量以下で漁期も短縮される。

(2)当才魚は、稚仔の体長組成から、大、小2群に大別される。大型群は2月下旬で15～25mmに成長しているが、量的に少なく、小型群は7～13mmで前者より多いものと推定される。したがって、淡路南部では3月上旬、中北部では下旬ごろから少量ながら漁獲され始め、4月中旬～5月中旬が盛漁期と考えられる。今年の漁期中は、集中的な大漁日は少なく、盛漁期を通じて平均した漁況に推移し、総量では例年漁（昭和31年～40年平均1.7万トン）を1～2割上廻る漁獲が期待される。

（浜田）



イカナゴ稚仔の分布（2月上旬）
：A…淡路島周辺発生群
：B…播磨灘西部発生群
（両群とも0.1尾/m²以上の分布域を示す）

昭和四十二年度　漁村育英生の募集要領

昭和四十二年度漁村育英生を左記要領により募集いたします。

希望者がありましたら、四月十五日までに、本会へ必着するよう各組合で一括希望者の人数をご回報ください。

記

一、希望者の資格

兵庫県下の漁業協同組合または同連合会に属する組合員もしくは職員の子弟であって品行方正かつ身体強健で、学資の支弁が困難である、と認められる者で①高等学校またはこれと同程度の学校に在学しているもの、②高等学校の水産に関する専門の学科に在学しているもの、③大学またはこれと同程度の学校に在学しているものであること。

ただし、日本育英会その他公私団体、または個人より奨学金またはこれに類する金品を受けているものは、本会の育英生になることはできません。

二、必要書類

ア、戸籍抄本
イ、履歴書及び写真（名刺判）
ウ、在学証明書
エ、育英資金貸与申込書
オ、推せん書及び家庭状況調書
カ、学校長が作成した推せん書（成績書）
キ、知能指数票
ク、健康診断書

右記のうち、ア～ウは、あらかじめ希望者で用意しておくこと。

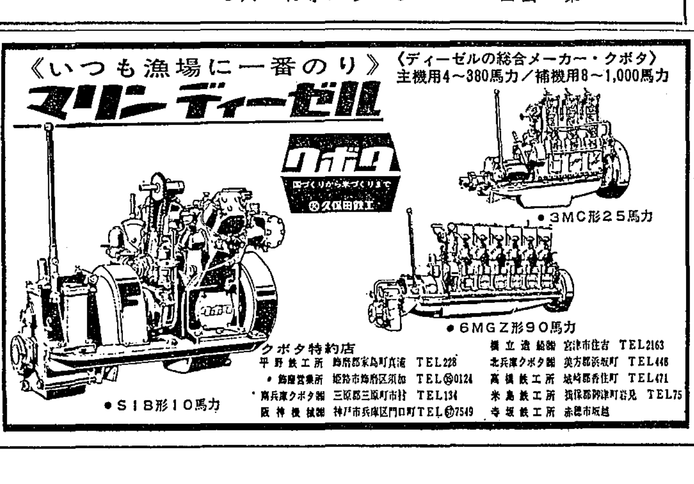
エ～クについては、本会規定の用紙を希望者数に応じて後日組合あて送付します。

神戸市兵庫区新在家町一—二三
（水産会館内）
財団法人兵庫県漁村育英会

県漁連だより

「拓水」投稿をお待ちしています。

◇随筆、詩、俳句などなんでも投稿して下さい
◇随筆等は四百字詰原稿用紙3枚程度
◇しめきり毎月20日
◇送り先兵庫県漁連拓水編集委員会あて



瀬戸内海のコンブ養殖試験

（短波放送分抜萃）

県水試　井　伊　明

瀬戸内海でコンブを養殖する……

常識ではちょっと考えられないこの試験を始めた動機は——。誰からも先ず訊ねら問れる質問です。

動機のひとつは大阪・神戸の昆布加工業界から、深刻な原料不足と高値を少しでも緩和するためにやってみてくれ、との要請を受けたことです。われわれ水産技術者は瀬戸内海を、夏の海と冬の海に季節的にわけて考えていますが、この冬の海を使えば北洋の生物を養殖することも必ずしも不可能とはいえません。

第二の動機は、ワカメ養殖の規模が毎年五割増しという異常なペースで大きくなり、生産過剰による値上がりを招くおそれが多分にあります。ワカメ養殖の一部をコンブに切り換えて、流通面の行き詰まりが解決できればまさに一石二鳥と申せましょう。

養殖の方法をかいつまんで説明しますと種苗つくりは、北海道から母藻すなわち親コンブを送って貰い、これから胞子をとります。母藻の輸送が最も安全で、しかも確実に種がとれるのは十一月の上・中旬です。採苗・培養の器材と要領はワカメと全く同じで、翌年一月の中頃には早くも海に移植できる大きさに成長します。

海面養成の施設も方法もやはりワカメと同じですが、成育量が非常に多いので、ロープや錨などはやや大きいものを使います。海に移してからの成長速度は非常に速く、養殖場の海水が肥料成分に富み、潮の流れも速いところなら、六月中頃には二メートル半に達します。その後は水温が高くなるため先枯れが進み、葉の全長は却って短かくなりますが、根本ちかくの実用的な厚みを持った部分は八月にはいっても盛につくられており、ますますコンブらしくなります。

しかし八月中頃、水温が二十四度を越すとさすがの瀬戸内生まれのコンブも、遂に枯れ始めます。従って収獲は七月下旬まで待ち、しかも八月十日までには終わらなければなりません。

こうしてできたコンブは養殖縄一メーメルあたり生で十五ないし二十キログラムの収量があり、不用部分を除いて正味の乾燥重量が二ないし三キログラムは得られます。値段は、漁業者が商品の形に整えて直売するか、加工業者に卸し売りするか、の売りかたでかなり違いますが、品物がよければ[illegible]円から千五百円くらいとなり、ワカメの場合養殖縄一メートルあたり三百円以上の収入があれば採算が合うのと比較して、決して不利ではないといえます。

× × ×

過去二回の試験によって、瀬戸内海でも、地の利を得れば「一年コンブ」は確実に養殖できることがわかりました。今後解決しなければならない問題は第一に、より一層大型の葉をつくることです。北海道でとっているコンブは、その殆んどが二年コンブであり、これに較べれば一年コンブは全く小さなものです。コンブの値打ちは味・色・厚さ・巾・長さなどで等級が決まるのですが、瀬戸内コンブは味・色の点では申し分ありません。あとは大きくさえすればよいのです。

十一月中旬に種をとり、一月末に移殖する今までのやりかたでは、海面での栽培期間が短かいので収獲時に二メートル以上の大きさを持たせることは困難のようです。種苗が十一月末か十二月はじめに移植できる大きさになっていれば、全長三メートルのコンブを収獲できるであろうことは、現在おこなっている試験から容易に想像できます。

これは一昨年にとった種を昨年秋まで種苗の形で成長を押えておき、十二月に海に移植したものがことしの二月二十日現在、六十七センチに達している成長実績からくだした判断です。

しかし、この抑制培養という方法は、非常に長い期間、春・夏・秋を通じて、水温を八度に保つ必要があり、これに多くの経費と手間がかかるだけでなく、この間に死滅する種苗も少なくありません。そこでこれに替わる方法として、できるだけ早く種をとり、その成長をできるだけ促進して移植の時期を早くすることが考えられます。この促成培養技術が完成すれば、健康で密度の高い種苗が、手軽に得られることになります。

このほか、コンブ養殖を企業として成立させるためには、寄生生物の防除などの技術面だけでなく、漁業者にとって稼ぎ時の真夏に、収獲作業の労働力をいかにして生み出すか、あるいは最も有利な加工販売方法など、経営面においても解決を要する課題がたくさん残されています。

× × ×

温帯海城でコンブを養殖するこの研究は、今や兵庫県だけでなく、かって試みたことのある広島県の養殖業者、このほど参画した徳島・香川等瀬戸内沿岸は言うに及ばず、裏日本や中部地方から九州まで、試験場や養殖業者が続々と着手していますから、近い将来、必ずや目的を達成できるものと信じています。

おわりに臨んで、養殖に携わる皆さんには、機会があれば進んでこの研究に参加協力してくださることを、そして加工業界の皆さんには、引き続きこの研究を温かく見守って頂きたいことを望んでこの稿を終わります。

◇研究発表の講演の仕方◇

(2)

手　塚　多　喜　雄

五、声の大きさ

声の大きさは会場と聴衆を考えて、聴き取りやすいように加減しなければならない。

近年はどこの会場でもマイクを使うようになったから楽になったが、それでも聴きとれないような小さな声でボソボソとやる人がある。特に気をつけなければならぬことは、掛図などを説明するためにマイクの前を離れるときである。マイクは正直だからその位置を離れると、とたんにその用をなさなくなるし、掛図を説明するときは、後向きの姿勢になるから余計に聴き取りにくくなる。携帯マイクが備えてあれば必ずそれを持ち、なければ特に声を大きくしなければならない。

六、「なまり」と「くせ」

同じ地方の人だけが集まる県大会などでは、なまりも方言も不自由なく通用するから気にすることはない。しかし全国大会などでは、あまりにひどいのは通用しないことがある。質疑応答などで互いに言っていることがわからなくて、トンチンカンな問答を繰返して爆笑をまき起こす光景はよくあることである。「なまりは国の手形」というたとえもあって、決して恥ずかしいことではないから憶せず使ってよいが、聴衆のことも考えてなるべくわかりやすく話すように心掛けることは必要である。

もう一つ、話の仕方や語調には、誰でも個人的なクセが必ずあるものであるが、「なまり」よりも、むしろこの方が問題である。一番多いのは言葉の合間に、無意味な合の手を入れるもので、発言のはじめに「アー」「エー」「マー」「エート」というような音を出さないと話のできない人や言葉と言葉の間に「アノ」「ソノ」などをやたらに混ぜる人が多い。むしろ日本人のすべてが多かれ少なかれそんなクセを持っていると言ってよいのではなかろうか。

私が以前勤めていた役所に「ダイタイ事務官」とあだ名された人がいた。何にでも大体をつけるからであった。また政治家に多い話方だが「ソレワダナー、ソレナンダ、漁業というものがダナー、つまりわが国のダ」というようのもある。みんなそれぞれのくせである。

他人事ではない、私自身と、自分では気がつかない自分の話の録音などを聴くとクセが多くてイヤになる。人間である限り多少のクセがあるのは当然であろうし、もし全くクセのない人があったとしたら、その人の話振りはおそらく無味干燥な情緒のないものであるに違いない。しかしそれにも限界があって、あまりにひどいと聴き苦しいものだから、できるだけ無くするように心掛けることは必要である。またそのくらいにしてもまだいい加減残るに違いない。

七、制限時間

研究発表には時間の制限があって、多くは十～十五分であることは前にも述べたが、日程がつまっていて、多くの人が講演を行なう以上は仕方ないことである。また講演時間というのは五十歩百歩で、長いからよい話ができるというものでもない。十五分でもやり方によって結構まとまった話ができるものである。

ところがこの制限時間を守らない人が多いのは困ったことである。一分くらい前に予鈴が鳴り、時間いっぱいに時間切れのベルが鳴るのが通例であるが、けたたましくベルが鳴りひびいても、平然として話続けて一向にやめようとしない人がある。皮肉なことに、このような「交通信号無視型」に限って無駄が多く、しまらない話が多い。

制限時間が十五分というのは十五分以内という意味であるから、必ずしも十五分でなければならぬということではない。それより短い分には十三分でも十分でもさしつかえないわけである。しかし折角の時間だからいっぱいに有効に使うことはよいことであるが、オーバーするのは他人の迷惑にもなるから絶対に慎しまなければならない。聴いていてスマートなのは、制限が十五分だとすれば十四分くらいで終ってあとは質問に入るような余裕のあるやり方である。スマートさは別としても、そのくらいにして制限時間を守るのがエチケットというものであろう。

制限時間を守るのはそれほどむつかしいことではない。最初から時間を十三分くらいに考えて、内容やら話方やらを整理しておけばよいことである。

八、おわりに

以上思いつくままに書き並べて来たが、経験の少ない人にとって、多少でも参考になれば幸いである。

（社団法人日本水産資源保護協会常務理事）

（思い出の記）聖者のおもかげ

(20)

風　来　漁　人

無車大路先生の説く理想主義と人道主義に心をひそめ、一葉や独歩の文章を暗記する位にまで読みふけるというように、ミクロ的にまで人生に文学に自分自身を深く掘り下げてゆこうとする私が、村人から白眼視されると硝煙くさい大野と途方もない海賊計画にうつつを抜かすとは一体どういうことなのか。それは息ぬきのための屈託発散でもあっただろうが、何よりも持ち前の叛骨と自己免許の正義感が、鎌首をもたげるような要因が現われてきたからに外ならない。

川上門下の左翼の闘士で経済学者である男沢君によると村の経営方針には数々の矛盾がある。又渡辺君はこの土地は経済的に不利な立地条件に加えて火山灰の酸性土壌で極めて生産性の低い所だという。そうするとみかん作りにも養魚池造りにも適しないわけだ。更に三方を大河にかこまれながら水利に恵まれず、僅か十町歩余りの耕地に要する灌漑用水を得んために一里の奥から水路を引くという難工事に取り組んでいる。今までにつぎこんだ経費は莫大なものである。

しかしそうした物質的な難関よりも、かんじんの村人の一部にある低調な享楽ムードに問題がある。僅か六時間ときめられた労働時間にさえ顔を出さずテニスなどに興じている組もあるが彼等は夜になると俄然活気を呈し、やれバルザックだチエーホフだゲーテだ、あるいはゴヤ、ゴーガンだと議論に夜を徹したり、売れもせぬ小説書きに憂身をやつしたりしているのだ。許しがたいのは我々が肥桶をかついでいるのに出逢うと鼻をつまむ奴さえある。先生のいう理想郷はまだその殿堂を創り上げるための礎石さえ固められていないのに彼等はもはや現状に満足してわが世の春をうたっているように見えるのだが実際は大変なのだ。

創業七年というのに生活費は元より食料の七、八割を買い入れねばならぬ。それらの負担を双肩にない黙々として受難の聖者のように、苛酷なまでの超重労働といえる執筆活動による収入でそれを賄っている。我々は慨嘆した。先生に負ぶさって安逸をむさぼる連中があまりにも多すぎる。これでは村の発展など夢にも考えられない。何よりも先生が気の毒だ。大正の頃一枚二十円の原稿料[illegible]最高であり、今日の一万円に当たる。これを月二百枚以上も書いていた。それでも水路や道路、住宅、発電所、印刷工場と限りない支出に加えて村人五十余人の生活を支えてゆくためには、そのかせぎも焼石に水のように消えていた。

渡辺、村山、佐藤、平川の四人はひまがあると集まって村のため先生のため、そして我々自身のために相談し議論したが次第にあせりを覚えだした。

「先生にぶっつかってダラ幹の反省を促してもらおう」ということになった。年長であり先生に最も近い渡辺君が先ず切り出す。

「僕たちは今の六時間制を十時間位にのばしたい位なんです。六時間の半分も働かぬ者が多勢いるのでは、自活さえいつの事かわからんです」

「先生からあの連中に一と口言って下されば働くようになると思います」

「君たちの気持はよくわかる。僕もそれを考えてみた事もあるんだ。しかし十時間も働いてみたりするのは村の精神に反するものなんだ。それに人間が人間を使うとか命令するとかいうことが社会の不合理の根本なのだ。若し僕が彼等に、指図するとか強制するとかいうことになれば、新しい村の根本理念がくずされる事になる。誰にだって、勿論僕にだって人に命令する資格なんかないんだよ」

我々は見事に撃退されたという感じであった。あきれるという思いの中にも納得せざるを得ない所がある。「先生がいつも言ってるじゃないか。小さな利功者であるよりは、むしろ大きな間抜け者でありたいとね」「馬鹿と聖人は区別がつきかねるというからね」

「夏の月に酔って歌っている鈴虫に説教するような小細工は出来んという事か」

「あの虫共をしばるのに適した細い糸ぎれを持ち合わさんという事だ。先生が持ってるのは太いロープだけなのさ」一途に精神主義を貫こうとする先生の偉大な間抜けさと楽天家ぶりと併せて真善美の極致を説く態度は、シャカやキリストの境地に通じるものがあるように思えた。

我々は第二の「新しい村」をつくる事に話は落ち着いた。先生にそれを伝えると「よかろう、この間やってきた周作人君（北京大学教授）などもいっていたが、こんな村が世界中に次々とできて来る筈なんだ。隣村でもどこでもいい土地をさがすことを考えて見給え」

こうして退屈男が新しい目標を得て勇躍して前進する事になるのだが、さすがに聖なる「世紀の事業」をやろうというのにいかに資本がほしいからといって、大野と語らってシナの軍閥相手によごれた資金をかせごうというわけには行かないのである。

満期保険の制度が改善されました
漁船の養老保険、満期保険を
利用し漁船の代船を造りましょう
兵庫県内海漁船保険組合
組合長理事　三　浦　清　太　郎
但馬漁船保険組合
組合長理事　西　上　重　弐

＝随筆＝ はるかなる水平線

昔々の夏の候、夕陽がはるか西の四国の山に沈もうとしている折、〝銀りん〟を輝かせ夕日に白く長く光る鰯の群れ、二〜三統の巾着網船がその大群を追って行き交う光景をしばしば見ることが出来た。

その後、年を追う度々その群も短くなってきた。むしろ、漁船の影が増すばかり…私は疑問に感じる。あれだけの鰯はどこへどこの国へ旅に行ったのか、また大魚の餌となったのか、それとも全滅したものか？

やはり魚界にあっても、弱肉強食の生存競争が激しいことが、これにより伺えられる。

どちらにしても弱いものは強いものの餌となり、強魚の繁殖を促進する。近頃魚体が小型化していることであり、これらの条件として強魚からのがれることが常に頭にしみこみ、毎日の生活がのびのびとしたゆとりがなく、心配生活の連続のために魚体の成長をさまたげているのではなかろうか。

ですから、私のあさはかな考えかもわかりませんが、この瀬戸内海にたしか何千、何万といった強魚が入り込んでいるのではなかろうかとふと感じた。

一方、魚同志の内乱、戦いが初まったのではなかろうか、陸にあっては尊い人命をも考えず、いまだたゆまずその人命のうばいあいに互に努力し合っている。ベトナムを思い出さずにはいられない。

海の世界にもこのベトナム戦争が影響して海戦が続いているのではないでしょうか。

どちらにしても、内乱！権力のうばい合いは双方マイナスにこそするがプラスとなることは少ないことでありましょう。

魚体の小型化はただ単に乱獲のみならず、魚同志の戦争も考慮しなければならない。それにつれて、高級魚の減少でありますが、従来高級魚は弱魚が多く、鯛にしても、魚界の王様となっていた平和な時期も過ぎ去り内海にあっても、クーデターが起り、サメ族がその権力をうばって内海魚界を占めるようになってきたのではなかろうか。更に考えさせられることは、海底を陸上の道路と考えてその傾向を見よう。

先日、漁師からの声として海底もでこぼこの田舎道の時、ところには魚も多いが、すでに大部分はアスファルト、コンクリート舗装化されてきているということ、今日まで漁具は掃除の時のホーキの如く海底を掃いていたものが、漁具も電化されて電気掃除機の如く小さいものから大きいものまで吸い込んでしまう傾向にあるのではないかとのおもしろいことも聞き受けました。

このような状態を少なくするために毎年度、大型、並型魚礁が設置されていることは誠に喜ばしきことでありまして、その成果は短期間に現われることを期待しているとのことであります。それに歩調を合わせ、海底を掘り起こす事業も実施して、魚族の住家を作ることを念願している。

なるほど海底にでこぼこの多い時は魚が多いということは事実でありましょう。それが完全舗装の末には魚が住まなくなり、住家を異動さすことも当然考えるべきことであり、漁師仲間では網代が変わったとよく言われております。

それにしても不思議に思うことは、年中一定の海区を操業して、よく今日まで漁が続いて獲れていることであります。

休漁制度の実施をすることにより、これらの条件が少しでも消されることでしょうが、その反面休漁補償制度が裏付けされていない、だから獲らねば生活に響くといった非常に不安定な悪循環の繰り返しである。

やがて、はるかなる水平線には魚群の影もなくなり、漁船の影もみられず、さみしくなるのかと思うと、ほんとうに情けないことです。今一度、漁業者の各位の理解をもって昔の水平線に魚群と漁船の影を見せるよう努力しようではないか。甚だ簡単でありますが皆様方の良きご指導の程お願い申し上げる次第です。

（丸山漁協竹中生）

×　×　×

どらばん あんど

(13) あくび

吹く風に、そこはかとなき冷たさはあっても、ふりそそぐ陽の光りはもう春のやわらかさだ。

十二月決算の組合では済んでいるだろうが、三月決算の組合では準備に竹がしい通常総会のシーズンである。

選挙のない時の総会のクライマックスは、何といっても貸借対照表と、損益計算書の質疑応答で

「販売品の売掛金が相当額あるが、回収に対する実状と、見とおしについて説明せよ」

との質問に、議長と担当職員が、ことこまやかにこれまでの経過と、これについての方策を報告した後、ぼくが

「現段階では組合が三つもあって、三つの組合それぞれ、この組合とほぼ同程度の販売掛金が残っている。これを完全に回収するためには、一つの大きな力で当るより術がなかろう。現状のように力の分散された三漁協では、仲買人につけ入らす隙を、ドウゾといって造っているようなもので、まとまった力で今後これに対処してゆかねば、成果は挙がらぬだろう」

こんな意味の話をしたことを覚えているが、もうあれから十三、四年の歳月が流れたか。

勇敢に組合のため、建設的な意見を下さった武田虎（たけし）さんも、その後漁師をやめて、どっかで働いておるそうで、長いこと会ったことがないが、よもや十何年後に、ぼくが虎さんに説明したポジションで働くとは、当時神ならぬ身の知るよしもなかったが、約一年販売の仕事をやってみて、その全貌がわかりかけてくると、何事もみなむづかしいことだらけ

だが、昨年暮れに水産庁が内閣官房広報室に協力してまとめた「漁協に関する世論調査」の結果、漁協の必要性の項目に、

あなたは、もし組合がなくなったら困りますか、困りませんか。

というのに対し、八二パーセントが困ると答え、その困ると回答した者の四二パーセントが、水産物の販売に困ると最高をしめし、次いで漁業権行使の管理問題、金を借りるのに困る――等という結論が、ハッキリ打ち出された。

ここから推しても、漁協における販売部門の占める地位が、いかに重要であるかと痛感し、むづかしいからと、なおざりにして、許さるるものではあるまい。

なぜかなれば、それ以上にこの連合会の設立認可に際して、農林部長さんから「連合会の設立は、発起人である三漁協の合併を前提とし、合併までの暫定的手段である」と、大きな下駄をあずけられているからで、ロッカーで時のくるのを静かに待って寝てござる認可証に対して、一時もはよう喜ばしてやりたいからに外ならない。

まだ単協には十何年前指摘された当時の、売掛金いわゆる旧債なるものが残っているが、みんなの協力で少しずつでも回収出来ている。

だから、ぼくはぼくなりに、販売の目標がすこしでも理想に近づくように努力することが、漁民みんなのしあわせにつながる、合併という錦のみ旗のかかげられる日の一つの道だと信じたい。

そして純白の勇気を示したいが、惜しいかなポテン、シャルのないわが身に神よ、限りなき加護を垂れさせ給え。

いつしか春気動きて、春色整えば、背める下萌で思いきりあくびをし、のびるだけの背のびをしてみたい。

あゝ

なんとさゝやかなる

のぞみ

（劔）

漢字の知識 まないたとほうちょう

◆科学が発達し、台所用品もどんどん電化されつつある今日、まないたとほうちょうは、古代からの名ごりをとどめているもののひとつでしょう。

◇まず「まないた（俎）」の語源について「和漢三才図会」には「木砧（まないた）ハ魚板（まないた）也。官女魚ヲ呼ンデ末奈（まな）トイフ」と説明しています。官女とは宮中の女房ですが、古くはとくに食料にする魚を「まな」とよんでいたので、「魚（まな）を料理する板」つまり「まないた」というわけです。

◆このように、はじめは魚や鳥の料理用のものを「まないた」とよび、野菜用のものとわけていたのですが、後には魚菜用のものとともに「まないた」とよぶようになりました。

◇まないた漢字で「俎」と書きます。しかしこの「俎」は俗字で、「爼（まないた）」が本字です。「爼」は「人人」と「且」とから成り「人人」は肉の形、「且」は祭のとき肉をのせる台という意味をもち、これが転じて「魚肉を料理する台」「爼」という字が作られたのです。

◆つぎは「ほうちょう（包丁・庖丁）」の語源です。もともと中国で「庖」は料理人の意味、「丁」は料理人の名前だったものです。ところで、その丁サンという料理人が、ある日、梁の国王に召され、牛を見事に料理して、その刀のサエをたいそうほめられ、ますます名コックの評判をとったのです。それ以来料理用の刃物を「庖丁」というようになったと[illegible]れています。

一口保健メモ

いよいよ春です。北国のみなさん、長い間本当に御苦労様でした。いまこそ待ちに待った春の日ざしを心ゆくまで満喫して下さい。

そして「健康」なることに感謝しましょう。

今回から「拓水」でもみなさんの保健のために、シリーズとしてこの欄を設けました。何卒御愛読下さい。

■紫外線にあたりましょう

日光浴をしますと，紫外線の作用で，身体の中にあるビタミンDの母体の栄養がビタミンDに変化して，骨格を丈夫にし，クル病を予防します。そのほか，身体全体の機能を活発にして抵抗力が増し，カゼなどにもかかりにくくなります。

ですから，発育期のこどもや妊産婦は努めて日光浴をし，歯や骨格をじょうぶにすることはもちろんですが，そうでない人もできるだけ紫外線にあたるように心がけましょう。生まれたての赤ちゃんも，一月たったころからだんだん日光浴をさせることが望ましいのです。ビタミンDを含んだ薬もありますが，薬に頼るよりは，直射日光にあたるにこしたことはありません。というのは，直接日光は身体全体の機能も高めるからです。

また，紫外線には殺菌力や消毒力もありますので，晴天の日にはふとんなどもよく日に干すことが大切です。綿の中の水分が蒸発し、同時に繊維の間隔が広がって，保温作用を高めてくれますし，消毒力もありますから，カゼのなおったあとのふとんは忘れず日光消毒をしたいものです。

■サングラスの効用

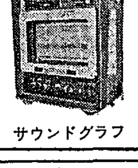
・眼科医より，虹彩炎，角膜炎，網膜炎などの眼科的疾患により，サングラスをかけるようすすめられている人を除き，ふつうの人はつぎの点に留意しましょう。

・一般的に海や山などでギラギラした強い反射光線を受けながら，長時間なにかをするなどといった場合，野球などの戸外のスポーツを長時間見物するといった場合に必要。また，スキーで雪山に行く場合には雪眼炎（雪目）を防ぐためにお忘れなく。職業上，とくに強い光線を受ける場合にも，保護する必要があります。

・曇天の日や，電車・自動車の中でのサングラスの使用は，かえって強い光線にたいする抵抗力を弱め，感心しません。

・白人の場合は別で，日本人より虹彩（茶目）のメラミン色素が少ないので明るさに対する抵抗力が弱く，サングラスを常用する人が多いのです。

海上電機の
魚群探知機

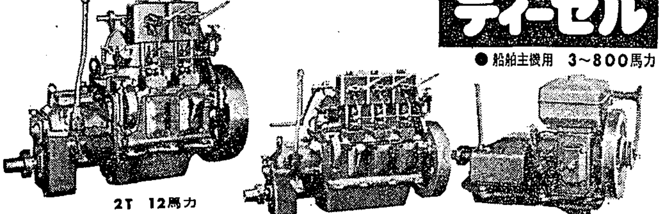

サウンドグラフ

新鋭機出現
2　周　波
魚群探知機

NEC
の技術を誇る
画期的な漁業用魚探機

海上電機株式会社
本　社　東京都千代田区神田錦町1〜19　電話　東京（291）2611〜3・8181〜3
神戸営業所　神戸市生田区明石町32（明海ビル）　電話（39）4301代・（33）3706　ビル交換

YANMAR DIESEL ENGINE
● 漁場と市場を直結する！ヤンマーディーゼル
● 船舶主機用　3〜800馬力


2T　12馬力　3T　20馬力　NTS85　4馬力

YANMAR
ヤンマーディーゼル株式会社
＜本　社＞大阪市北区茶屋町62番地
札幌・旭川・仙台・東京・金沢・大阪・岡山・広島・高松・福岡・大分